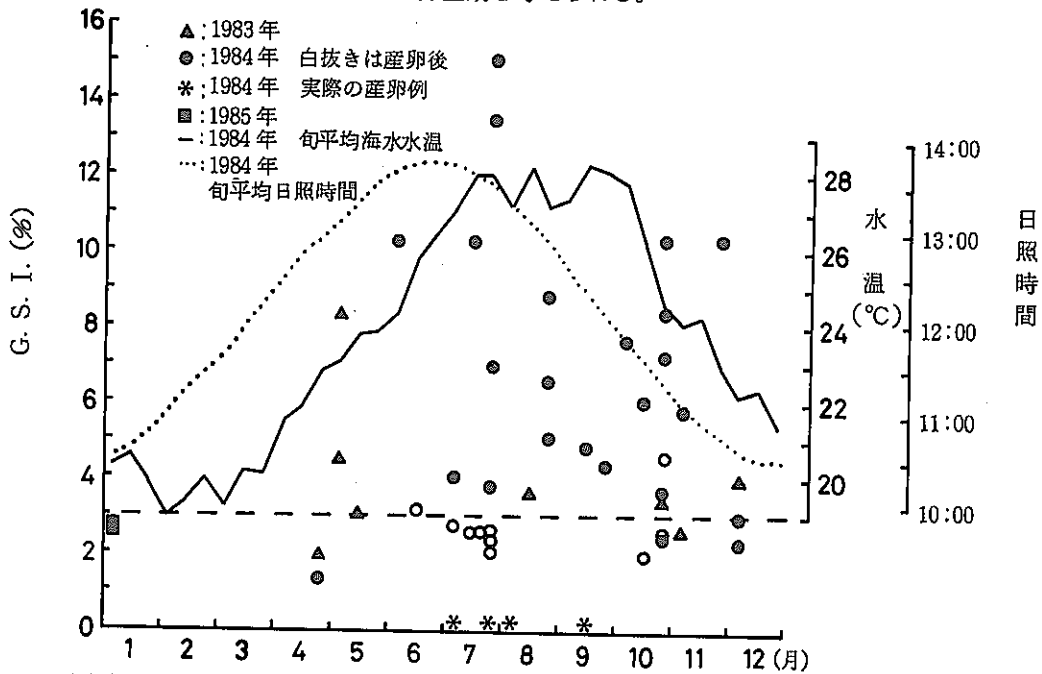


もG.S.Iが高くなった。12月頃(水温23°C)からはG.S.Iの減少がみられた。実際の産卵例も7～9月みられ、この時期がウシエビの産卵盛期と考えられる。



※ 海水水温、日照時間、資料提供、沖縄気象台

図8 沖縄における天然ウシエビのG.S.I.の変化

3 母エビ養成試験

(1) 天然ウシエビの成熟試験

① 屋外25m²コンクリート水槽での飼育観察

昭和59年6月4日以降中城湾で漁獲されたウシエビの雌12尾(平均体重265g)、雄3尾を屋外の25m²コンクリート水槽で7月21日から8月15日まで流水飼育し、卵巢の変化を調べた。

7月21日の観察ではステージIが3尾、IIが2尾、IIIが4尾そしてステージIVが3尾(ステージの分類は表5に示した。)であったが、8月15日にはステージIIが2尾で他の個体はステージIとなり、卵巢の発達はみられずに次第に吸収された。

表5 ウシエビ卵巢の熟度

ステージI	未熟	半透明、無色素、細い。
ステージII	やや熟	やや不透明、表面は黒色素が散在、前部、中間部はやや太い。
ステージIII	熟	黄緑色、前部、中間部は太い。
ステージIV	成熟	暗緑色、ほぼ体の全長に亘って充満する。輪郭が明瞭で前部は肩が張る。
ステージV	放卵	ステージIと区別しにくい。検鏡すると大量の栄養細胞がある。

[国際協力事業団(1980)より]